

当番活動では「役割をきちんと分担すること」や「チェックのシステムづくり」をつくること、「指導（方法，内容）し，認める（ほめる）」ことが大事であることが，不易の部分でもあるし，同時に流行の部分でもあるという意見だった。

活動のモチベーションが下がってきたらどうするか・・・？

その場合には、「アイデアの手助け」を行い，活動同士での「情報収集」や「発表の場を設ける」ことに取り組む必要があるという意見が出された。

2 山口学級活動ネットワーク「冬の学習会」2010 感想から その3

参加者の皆さんからの感想，第3弾です。

◇勉強不足でしたが，特活のアウトラインが分かり，とても勉強になりました。どうしても，今求められているもの（流行）にばかり目がいき，なかなかうまくいかないことが多いのですが，やはり不易の部分も並行して自分から学んでいきたいと思いました。

3人の方の実践を聞いて，特活を充実させれば，学級があんなに魅力的になるんだという思いを強くもちました。子どもたちが自分たちの力でやりきったと思い，トラブルが起きた時も寄り添い，折り合い解決して経験をたくさん積んでいくことの大切さを学びました。

ワークショップで，今，学級の中で悩んでいることについてアドバイスをいただき参考になりました。話し合いも，子どもたちの中に必要感が徐々に薄くなってきていたので，たくさんのお知恵をいただき，ありがとうございました。

杉田先生から学習指導要領の変遷について詳しく説明していただき，今ある指導要領の大元の考えとなるものについて少し理解することができました。目標の規定についても，各内容についてあることがわかりました。特活は子どもを変えられるし，自分も変えられる，人も変えられるものだと思います。

◇基調提案でメールの言葉が現場のリアリティある言葉として取り上げられたのはよかったです。

実践者の話を聞いて，今，言われていることは，初めて語られるものではなく，昔から大切にされてきたことだと，改めて気づかされました。

ワークショップで各県の事情がわかりよかったです。

◇新学習指導要領「特別活動」のポイントがよく分かりました。

中村先生の井戸端タイムの中で出された「よりそい発言」という言葉がとても印象に残りました。相手を思いやる発言ができるって大切だなと改めて思いました。岸本先生の実践は，いつも魅力的に感じます。

ワークショップでは話合いのグループに参加しましたが、みなさん気さくな方々でしたので話しやすかったです。いろいろな意見が聞けたので、今後役に立てていきたいと思えます。

杉田先生が使われたビデオ、どれも魅力的でした。日頃、この子たちはどのような学校生活を送っているのだろう。どうしたらこのよう子どもたちに育つのだろうと考えさせられました。杉田先生の、特活に対する思いがよく分かりました。

◇実践発表から「歴史は繰り返す」ということが分かった。その時の、いろんな人たちの“思い”“言葉”“つながり”なのだと思います。

滋賀というアウェイから参加させていただいたにも関わらず、みなさんに温かく迎え入れてくださり、うれしかったです。熱く語れてうれしかったです。

杉田先生の「みんなで」「自分で」「できることから」「がんばりましょう」が心に残りました。

◇たくさんの実践を聞かせてもらって、こういうふうになりたい！と意欲がわきます。いろいろな可能性があるということがわかりました。

特別活動を勉強したり、ワークショップに参加したりするのは初めてだったのですが、基本的なことから話合いを始めてくださって、勉強の一步を踏み出せたように思います。係と当番の違いもわかって、これから生かしていきたいなと思いました。杉田調査官の話聞いて、これまで特別活動について、そんなに深く考えたことがなかったのですが、すごく可能性のあるものなんだ！！とびっくりしました。初めて触れた分野なのですが、先生の熱い志にならってがんばりたいと思いました。

◇新学習指導要領における特別活動の考え方や改訂のポイント・指導計画等がよく分かりました。新しい項目として重要視されるものや変わらず重要視されるべきものについて、とても分かりやすく説明されていてよかったです。

3人の先生方の実践を聞きながら、先生方が大切にしておられるものを聞き、子どもたちの成長にとって本当に必要なことや活動は何なのか、考えさせられました。ワークショップでは、話合い活動について分からないことだらけで、どう進めていいのかわからないことを聞き、話し合うことの大切さと、学級経営とのつながりについてすごくすっきりして理解することができました。実践していこうと思います。杉田先生からは、特別活動がどう変わってきたのか、子どもの実態や社会の様子なども踏まえて教えていただきました。生き生きとした子どもたちの顔を見ると、特活を充実させる必要性をものすごく感じました。

◇

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第88号は、3月中旬ごろ発行予定です。

次号も、引き続き「特別活動の不易と流行」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は264名と急増しました。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆メールングリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、新たにメールングリスト「学級づくり夢工房」を始めました。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メールングリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====